

# シチメンソウが今年も鮮やかに紅葉

希少な塩生植物の自生地を知らせ保護を訴える看板も設置

塩塚川下流の番所橋近くに自生するシチメンソウが今年も赤く色づきました。シチメンソウは塩分の多い環境で生育するアカザ科の植物で、秋の深まりとともに棒状の葉が鮮やかな赤色に染まります。近年まで福岡県では絶滅したといわれていましたが、平成22年に塩塚川の干潟に自生していることが確認されました。近隣では佐賀市東与賀海岸の群生地が有名ですが、塩塚川のシチメンソウは自然な状態が保たれていることから、専門家から高い評価を受けています。また塩塚川にはシチメンソウと同じアカザ科のヒロハマツナも自生しています。ヒロハマツナも県内では市と大川市でしか自生していない貴重な植物です。

しかしシチメンソウやヒロハマツナが、自生していることはあまり知られていません。このため市は、今年10月に自生地の近くの堤防に看板を立て、貴重な植物が自生していることを知らせるとともに、生育環境を乱さないよう注意を呼びかけています。

問い合わせは、市生活環境課環境係 ☎77・8485) まで。



【上】鮮やかに色づいたシチメンソウ



【左】シチメンソウやヒロハマツナなど貴重な植物の自生地であることを知らせる、市が設置した看板（明野）

# 松くい虫の被害拡大 柳川城址の松も枯死

松くい虫が原因で枯れたマツは春までに伐採し処分を

柳川城址入口に対で植えられていたマツ並木のうち一番手前の1本が枯れ、城址を管理する市教育委員会が樹木医に依頼して原因を調査したところ、松くい虫（松材線虫病）による被害であることがわかりました。

松くい虫は、マツノサイセンチュウが原因でマツを枯らす、いわばマツの伝染病。マツに産卵する習性があるマツノマダラカミキリが運び屋になり、次々にマツを枯らします。県内では福岡市や糸島市の玄界灘に面した松原で大きな被害が発生しているほか、市内でも川下りコース沿いのマツの大木が被害を受けました。

城址のマツを調査した樹木医の野田和夫さん（みやま市）に予防法を尋ねると、羽化したマツノマダラカミキリが飛び回る5月から7月にかけて、作物名がマツノキで適用害虫がマツノマダラカミキリと書かれた薬剤を散布したり、冬の間造園業者などに頼んでマツノサイセンチュウに有効な薬剤を樹幹に注入したりする方法が効果があるそうです。

また枯れたマツは、マツノマダラカミキリが羽化する前に伐採し処分しないと、被害を拡大させるおそれ

があるそうです。ただしマツの大木を個人で伐採するのは危険です。必ず造園業者などに依頼してください。



【左】枯れたマツを調査する樹木医の野田和夫さん【右上】調査の結果検出されたマツノサイセンチュウ（野田和夫さん提供）【右下】松くい虫の媒体となるマツノマダラカミキリ（小池寛記念「緑の昆虫館」びいとるず提供）

# 無料で歯科健診が受けられるの？

国民健康保険加入者（40～74歳）は年1回無料で受診できます

平成17年に国が行った「歯の実態調査」では、80歳で自分の歯が20本以上残っている人の割合は、約2割にとどまっています。何歳になっても、食事は自分の歯で楽しみたいもの。食べる楽しみと健康を維持するために、歯と口の中の健康を保ち「80歳で20本」を目指して、年に1回は歯の健診を受けましょう。市国民健康保険は加入者を対象にした歯科健診を行っています。年度内1回分は無料で受診できます。ぜひご利用ください。

●対象者 市国民健康保険に加入している人で、歯科健診を受診する年度の末日（3月31日）に40歳以上75歳未満の人

- 受診できる期間 1年を通じて受診できます。
- 受診できる医療機関 市内と旧瀬高町、旧山川町の歯科医院など
- 受診方法 受診する歯科医院などの窓口で市国民健康保険証を提示して受診してください。
- 費用 無料。市国民健康保険が年度内1回分の受診費用を負担します。
- 注意いただく点 健診の結果、治療を受けるときは治療費は自己負担となります。

問い合わせは、市健康づくり課国民健康保険係（☎77・8506）まで。

## 受診できる市内の歯科医院など

医療機関名	電話番号
相浦歯科医院（旭町）	72・2223
生田歯科医院（細工町）	73・0555
石井歯科医院（曙町）	73・7792
石田歯科医院（久末）	72・4362
内田歯科医院（藤吉）	72・1007
江頭歯科医院（金納）	72・6116
えがみ歯科医院（鷹ノ尾）	75・7770
えり歯科医院（白鳥）	72・6777
大橋歯科医院（隅町）	74・5088
大淵いつき歯科クリニック（豊原）	76・3033
大村歯科医院（中島）	76・0316
さくら通り歯科クリニック柳城（城隅町）	72・2033
木村歯科医院（柳河）	73・0592
木村博歯科医院（上宮永町）	73・7588
古賀剛歯科医院（筑紫町）	73・6012
古賀歯科医院（恵美須町）	72・4367
こが哲男歯科医院（間）	72・3210
古賀歯科診療所（蒲船津）	72・7294

さいしょ歯科クリニック（今古賀）	74・5757
しまず歯科医院（下宮永町）	72・0363
竹下歯科医院（本町）	73・8020
田中歯科医院（久々原）	72・2748
中川歯科医院（下百町）	74・0505
中島歯科医院（西浜武）	74・1355
長友歯科医院（高畑）	73・0889
西村歯科医院（立石）	74・2581
新田歯科医院（奥州町）	73・0648
新田歯科医院（上町）	73・8148
野田歯科医院（京町）	74・0136
ひえだ歯科医院（東蒲池）	72・3304
ひらかわ歯科医院（中島）	76・3695
古澤歯科医院（新外町）	72・2080
松本歯科医院（筑紫町）	72・1182
安田歯科医院（椿原町）	72・2789
大和まつふじ歯科クリニック（中島）	76・5789
龍歯科医院（柳町）	72・3346
柳川ハビリテーション病院・歯科口腔外科（上宮永町）	72・0001
かわぐち歯科医院（百町）	72・6278
松藤歯科医院（中島）	76・1144

※みやま市内（旧高田町を除く）の歯科医院でも受診できます。



## 坐禅体験はよかったばんも～

臨済宗天叟寺（鍛冶屋町）で禅文化にふれる

体験を通して柳川の魅力を紹介する「よかばんも～体験」。11月は立花宗茂の実父高橋紹運の菩提寺、天叟寺で坐禅と一汁一菜の食事を体験しました。体験には市内外から26人が参加。本堂で住職の吉富弘道さんから、座り方や呼吸法、意識の持ち方などを習い、20分間の坐禅体験をしました。この後、座敷に場所を変え、炊き込みご飯に野菜などの煮つけ、ワカメと豆腐の吸い物の「一汁一菜」の食事を作法にのっとり味わい、日ごろ体験することができない禅の文化に親しみました。



坐禅中に肩をたたく警策の受け方を指導する吉富住職